

2017年NHK大河ドラマ



特別展

戦国！井伊直虎から直政へ

【企画概要】

直虎が守ったもの。それは、井伊家の未来。

戦国、動乱の時代。遠江・井伊谷^{いいのや}を領地としていた井伊家は、駿河の今川、甲斐の武田、尾張の織田など周辺の大国がしのぎを削るなか、存亡の危機に瀕していました。風前の灯のごとき家と幼い世継ぎの命を必死で守り抜き、のちの井伊家繁栄の礎を築いたのが、戦国末期の井伊氏を率いた当主・直虎です。

この展覧会では、くり返される謀略や戦いのなかで、井伊氏が周辺の大名とどのような関係を築き、乱世を生き延びたのか、同時代の戦国大名や周辺の人物などを通して浮き彫りにします。また、直虎が養育した次代・直政が、徳川四天王の一人として家康の天下統一事業に貢献し、「譜代筆頭」彦根藩井伊家の祖となるまでの姿を、井伊家の伝来の至宝などからご覧いただけます。

遠江の滅びかけた小さな家が、彦根城を擁する大大名・井伊家へと駆け上がる苦闘の道のりを、戦国大名ゆかりの甲冑や刀剣、ありし日の事件を今に伝える貴重な古文書、直虎・直政と同時代の絵画など、多数の重要文化財を含む本物の作品を通して、お確かめください。

【基本情報】

展覧会名	2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国！井伊直虎から直政へ
会 期	平成29（2017）年8月14日（月）～10月12日（木）
会 場	静岡県立美術館 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分。 ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または静鉄バスで約30分。 ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分。 ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分。 ・東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分。
開館時間	午前10時～午後5時30分（展示室への入室は午後5時まで） 8月19日（土）、26日（土）は午後7時まで夜間開館 （展示室への入室は午後6時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし9月18日（月・祝）及び10月9日（月・祝）は開館し、翌火曜休館） ※8月14日（月）は特別開館
観 覧 料	一般1,200円（1,000円）、70歳以上・高校・大学生600円（500円）、中学生以下無料 ※（ ）内は前売及び20名以上の団体料金 ※ロダン館・収蔵品展も併せてご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。
主 催	静岡県立美術館、NHK静岡放送局、NHKプラネット中部、中日新聞東海本社
後 援	浜松市
協 賛	日本写真印刷、ハウス食品グループ、ロート製薬、スズキ、浜松信用金庫、遠州鉄道
特別協力	浜松市博物館
お問 合 せ	総務課 054-263-5755 学芸課 054-263-5857（担当：石上） テレフォン・サービス 054-262-3737 ウェブサイト http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

【関連イベント】

◆特別講演会「戦国大名今川氏と国人領主井伊氏」

講師：小和田哲男氏（静岡大学名誉教授、大河ドラマ「おんな城主 直虎」時代考証）

9月10日（日）午後2時～

当館講堂 要申込・無料・座席指定

※往復はがきにてお申込みください。

記載内容：往信面＝氏名・住所・電話番号・希望人数（2名まで）／返信面＝郵便番号・住所・氏名

宛先：〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

静岡県立美術館 特別講演会係

〆切：8月22日（火）必着

※定員（250席）を超えた場合は抽選とし、結果は8月末までをめどにお知らせします。

◆講演会「井伊直虎と湖北の戦国時代」

講師：久野正博氏（浜松市博物館学芸員）

9月30日（土）午後2時～

当館講堂 申込不要・無料・先着250名

◆美術講座「直虎の時代の絵画一式部輝忠《富士八景図》から探る」

講師：石上充代（当館上席学芸員）

8月26日（土）午後2時～

当館講座室 申込不要・無料・先着40名

◆学芸員によるフロアレクチャー

8月26日（土）、9月16日（土）、10月7日（土）

いずれも午前10時30分～

集合場所・第1展示室 申込不要・要観覧料

(NHK静岡放送局 Presents 関連イベント)

※申込方法、締切日など、詳しくはNHK 静岡放送局「直虎ご当地サイト」をご覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/shizuoka/naotora/>

◇トークイベント

「直虎が生きた戦国時代」～VR体験～(仮)

8月19日(土)

◇公開セミナー「大河ドラマ『おんな城主 直虎』

講師：童門冬二氏(作家)

9月3日(日)

◇トークイベント「番組制作の舞台裏」(仮)

講師：番組制作関係者

9月24日(日)

※会場はいずれも静岡県立美術館講堂、入場無料・要事前申込

【展覧会構成】

第1章 動乱を超えて～東海の戦国大名と井伊氏

今川や武田、織田など周辺の戦国大名の動向を、武具や古文書などから展覧し、井伊氏を取り巻くスリリングな状況を浮き彫りにします。

第2章 遠江の雄～井伊谷の領主として

井伊氏の菩提寺・龍潭寺に伝来する貴重な歴史資料などを通して、直虎に至るまでの知られざる遠江の雄・井伊氏の歴史をご紹介します。

第3章 徳川家康と四天王

直虎が養育した井伊氏の次代・直政は、徳川家康に仕え、徳川四天王の一人としてその名を轟かせました。三河から出て勢力を伸ばし、有力大名となった徳川家康の飛躍と、それを支えた徳川四天王の勇姿を、ゆかりの武具などを通してご紹介します。

第4章 遠江から近江へ～直政、彦根藩創設への道程

朱色の装備で統一された「赤備え」部隊を率いた直政は、小牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いなどで武功をあげ、家康の天下統一事業に重要な役割を果たしました。直政が彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家伝来の武具・古文書などから展覧します。

【展覧会の見どころ】

1 直虎の拠点である井伊谷の歴史に、地域の文化財で迫ります。

直虎の花押の入った貴重な古文書【図1】のほか、直政の父で、直虎の許婚でもあったとされる井伊直親の遺愛の笛【図2】も展示します。笛は、460年にわたって、浜松市北部の寺野の地に護り伝えられていたもので、この展覧会は、笛が寺野の外で公開される初めての機会となります。また、直親の菩提寺に伝わる世継観音像【図3】は、展覧会のための調査をきっかけに、厨子の裏面の由緒書きに、「井伊次郎法師」の名があることが発見されました。会場では、観音像とともにこの由緒書きもご覧いただきます。



(左から) 図1 「井伊直虎・関口氏経連署状」 蜂前神社蔵・浜松市博物館保管
 図2 「青葉の笛」 寺野六所神社蔵 図3 「世継観音像」 井伊谷 龍潭寺蔵

2 駿府（静岡市）を本拠とする、今川氏の文化財も多数展示します。

直虎の生きた戦国時代に、静岡をひろく支配していたのは、今川義元と、その後を継いだ氏真でした。お膝元となる駿府は、ドラマでも映像化されていたように、京の公家や文化人たちもつどう、にぎわいのある都市でした。

展覧会では、義元が、人質として駿府に預かっていた徳川家康に贈った鎧（「紅糸威腹巻（くれないとおどしはらまき）」静岡浅間神社蔵【図4】）や、今川氏の御用絵師であったと思われる式部輝忠の絵画（「富士八景図」静岡県立美術館蔵【図5】）などを展示し、静岡の文化遺産を紹介します。



(左) 図4 「紅糸威腹巻」 静岡浅間神社蔵
 (右) 図5 式部輝忠筆「富士八景図」より 静岡県立美術館蔵

3 戦国時代から徳川の世へ、大きな歴史の転換をごらんいただきます。

戦国時代から江戸時代へと、歴史は大きく動きます。展覧会の後半は、直虎に育てられた直政が、家康にとりたてられ「徳川四天王」の一人として活躍し、日本の歴史の歯車を、平和で安定した時代へと、力強く動かしていくようすを紹介します。



(左から)
 図6 「井伊直政木像」
 彦根 井伊神社蔵
 図7 「朱漆塗花色糸威縫
 延胸腰取三枚胴具足」
 岡崎市美術博物館蔵
 図8 「朱地井桁紋金箔押旗印」
 (関ヶ原合戦所用)
 彦根城博物館蔵

※会期中、展示品の入れ替えがあります。
 前期：8/14～9/10 後期：9/12～10/12

広報用作品画像について

宛先：静岡県立美術館（担当）西畑・塚口 宛

FAX：054-263-5767 E-mail：webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

■画像1～8を広報用にご提供いたします。本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先までFAXでお申込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項をお知らせください。

【広報用作品画像ご使用に際してのお願い】

- *使用は本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- *使用後のデータは破棄してください。
- *画像への文字載せは不可です。
- *画像使用の際は、キャプションを必ず明記してください。
- *基本情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。
- *掲載後、広報担当まで見本誌（紙）を1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

お申込み日：	月	日	画像到着希望日：	月	日	時まで
貴社名：	媒体名：					
ご担当者名：	メディアの形態：					
TEL：	発行・放送予定日：			月	日	
FAX：	発行部数：					
E-mail：	掲載予定コーナー名等：					
連絡欄：						

■画像データ申込（ご希望の番号に○をつけてください）

- 1 「いいなおとら井伊直虎・せきぐちうじつねんしよじょう関口氏経連署状」蜂前神社蔵・浜松市博物館保管（8/14～9/10 展示）
- 2 「あおば ふえ青葉の笛」寺野六所神社蔵
- 3 「よつぎかんのんぞう世継観音像」井伊谷 龍潭寺蔵
- 4 「くれないとおどしほらまき紅糸威腹巻」静岡浅間神社蔵
- 5 しきぶてるただ式部輝忠筆「ふじはつけいず富士八景図」より 静岡県立美術館蔵
- 6 「い いなおまきもくぞう井伊直政木像」彦根 井伊神社蔵（8/14～9/10 展示）
- 7 「しゅうろしぬりはないろいとおとしぬいのべむねこしとりさんまいどうぐそく朱漆塗花色糸威縫延胸腰取三枚胴具足」岡崎市美術博物館蔵
- 8 「しゆじいげたちんきんはくおしはたじるし朱地井桁紋金箔押旗印」（関ヶ原合戦所用）彦根城博物館蔵（9/12～10/12 展示）

◎本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券

（5組10名様）を读者プレゼント用に提供いたします。

ご希望の方は下記にご記入ください。

读者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

[チケット送付先]

ご住所：〒

<広報用画像に関する問い合わせ先>

静岡県立美術館

学芸課：054-263-5857

総務課：054-263-5755

広報担当（学芸）西畑（総務）塚口

展覧会担当（学芸）石上